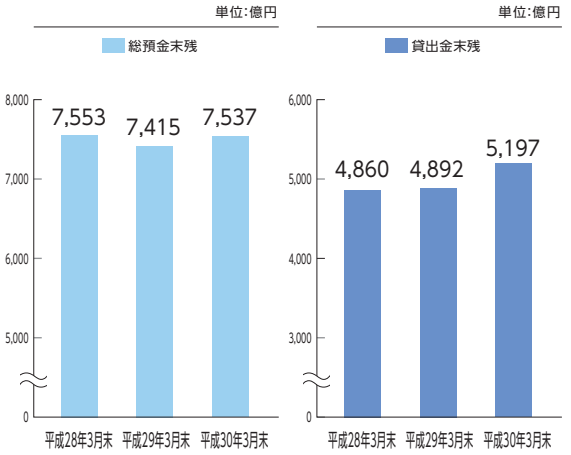
総預金・貸出金残高（単体）

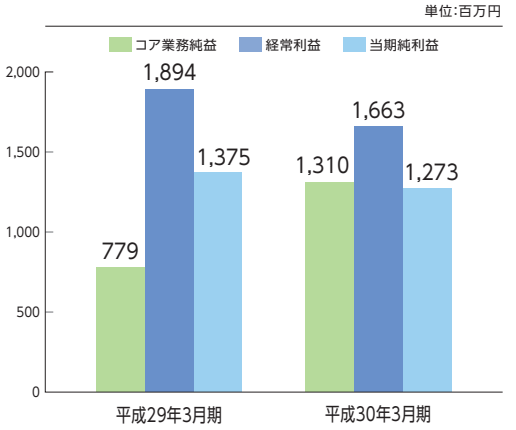
・総預金残高は、法人預金が増加したことなどから、平成29年3月末比121億円増加して7,537億円となりました。
・貸出金残高は、法人向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、平成29年3月末比305億円増加して5,197億円となりました。



コア業務純益・経常利益・当期純利益（単体）

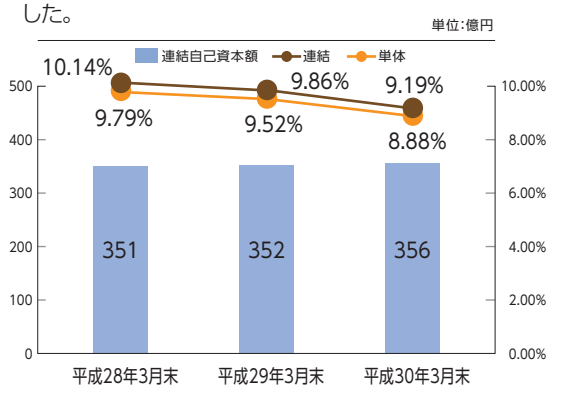
・コア業務純益は、役務取引等利益が増加したこと、また、勘定系システムの移行に係る一時費用の減少や経費削減効果に伴い経費が減少したことなどから、13億10百万円となりました。
・経常利益は有価証券関係損益が減少したことなどから、16億63百万円、当期純利益は12億73百万円となりました。

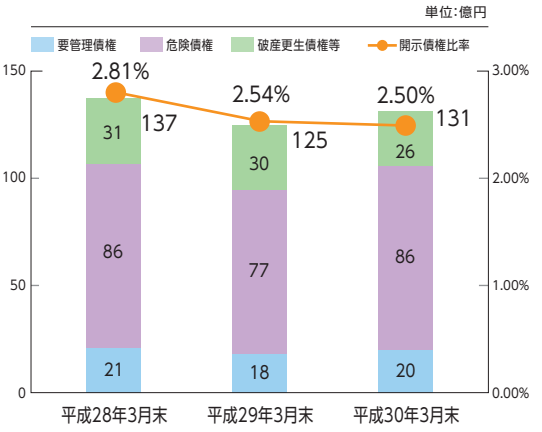
※「コア業務純益」とは、業務純益とともに銀行の本来業務の収益力を表す指標の一つです。
「コア業務純益」＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益



自己資本比率（国内基準）

・自己資本の額は平成29年3月末比3億円増加したものの、貸出金残高の増加などに伴うリスク・アセットの増加により、自己資本比率は連結で9.19%（平成29年3月末比△0.67ポイント）、単体で8.88%（同 △0.64ポイント）となりました。



開示債権比率（単体）

・金融再生法による開示債権比率（単体）は、平成29年3月末比0.04ポイント低下して2.50%となりました。